

福島県農林水産業振興計画 整理案[第4稿] 見直し内容一覧（写真・図表等の更新箇所は除く）

資料2

※ 第4稿の見直し内容は青字で表示しています。

2025年12月9日

No.	頁数	行数	修正項目 (視点、キーワード、 用語等)	見直し前(第3稿までの内容)	見直し後(第4稿の見直し内容)	見直しの ポイント等
1	7	20	林業産出額	震災から10年が経過し、地震や津波による被害からの復旧はほぼ完了していますが、原子力災害に起因する複合的な影響はまだまだ残っており、農業産出額等も震災以前の水準に回復していない状況にあります(林業産出額については、令和4年には震災前の水準に回復)。	震災から10年が経過し、地震や津波による被害からの復旧はほぼ完了していますが、原子力災害に起因する複合的な影響はまだまだ残っており、農業産出額等も震災以前の水準に回復していない状況にあります(林業産出額については、 令和4年以降 は震災前の水準に回復)。	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
2	9	6	モニタリング	○ 県産農林水産物の安全性を確保するため、放射性物質の基準値を超過した農林水産物が流通しないよう、生産段階における放射性物質の吸収抑制対策 を講じるとともに、出荷前の緊急時環境放射線モニタリング（以下「モニタリング検査」という。）や出荷制限を受けている品目が流通しないための措置を継続して実施しています。	○ 県産農林水産物の安全性を確保するため、放射性物質の基準値を超過した農林水産物が流通しないよう、生産段階における放射性物質の吸収抑制対策 を講じるとともに、出荷前の 緊急時モニタリング （以下「モニタリング検査」という。）や出荷制限を受けている品目が流通しないための措置を継続して実施しています。 ※同頁下部の注釈も併せて修正。	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
3	18	4	輸入規制	○ 県産農林水産物等の海外への輸出については、原子力災害の影響により、55の国・地域において輸入規制措置がとられましたが、その後規制の緩和・解除が進み、令和3年10月現在で14まで減少しました(令和7年6月時点では6まで減少)。	○ 県産農林水産物等の海外への輸出については、原子力災害の影響により、55の国・地域において輸入規制措置がとられましたが、その後規制の緩和・解除が進み、令和3年10月現在で14まで減少しました(令和7年 11月 時点では5まで減少)。	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
4	20	9	本格操業への移行期間	沿岸漁業の生産量・生産額(属地)は、震災後に大きく落ち込みました。その後、平成24年に開始した試験操業の拡大によって増加しつつあるものの、依然として低水準で推移しています。また、海面漁業の生産量・生産額(属人)についても回復していません。	沿岸漁業の生産量・生産額(属地)は、震災後に大きく落ち込みました。その後、平成24年に 試験操業を開始し、令和3年4月からは本格的な操業への移行期間として、水揚げ拡大に取組んでいるものの 、依然として低水準で推移しています。また、海面漁業の生産量・生産額(属人)についても回復していません。	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
5	42	-	指標見直しの反映	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 8,000ha以上	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 6,100 ha以上	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
6	45	-	指標見直しの反映	(指標名) 避難地域12市町村における農畜産物及び加工品の年間産出額 (目標値(R12)) 80億円以上	(指標名) 避難地域12市町村における農業産出額 (目標値(R12)) 274 億円以上	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
7	45	-	指標見直しの反映	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 8,000ha以上	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 6,100 ha以上	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
8	46	16	輸入規制	依然として14の国・地域が、本県産食品に対する輸入規制を継続(令和3年10月現在。令和7年6月時点では6の国・地域が輸入規制を継続)しているため、国と連携し、輸入規制の撤廃に向けた取組を継続していく必要があります。	依然として14の国・地域が、本県産食品に対する輸入規制を継続(令和3年10月現在。令和7年 11月 時点では5の国・地域が輸入規制を継続)しているため、国と連携し、輸入規制の撤廃に向けた取組を継続していく必要があります。	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
9	50	20	福島県農業経営・ 就農支援センター	(1) 担い手の確保・支援体制の整備 ○ 県、JAグループ、(一社)福島県農業会議、(公財)福島県農業振興公社がワンフロアに常駐する総合相談窓口「福島県農業経営・就農支援センター」を設置し、就農や農業経営の改善、法人化等の相談に対して、助言や専門家派遣による伴走支援を行います。 ※(具体的な取組(1))として新たに追加)	(1) 農業 担い手の確保・ 育成に向けた 支援体制の整備 ○ 県、JAグループ、(一社)福島県農業会議、(公財)福島県農業振興公社がワンフロアに常駐する総合相談窓口「福島県農業経営・就農支援センター」を設置し、就農や農業経営の改善、法人化等の相談に対して、助言や専門家派遣による伴走支援を行います。 ※(具体的な取組(1))として新たに追加)	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し

No.	頁数	行数	修正項目 (視点、キーワード、 用語等)	見直し前(第3稿までの内容)	見直し後(第4稿の見直し内容)	見直しの ポイント等
10	60	17	農地の集積・集約化	(3)担い手への農地集積_の推進	(2)担い手への農地集積・集約化の推進	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
11	67	7	輸入規制	○ 消費者庁の調査において、都市圏消費者の8%程度が依然として放射性物質を理由に本県産食品の購入をためらうと回答しているとともに、海外においては14の国・地域で輸入規制が継続(令和3年10月現在。令和7年6月時点では6の国・地域が輸入規制を継続)されています。	○ 消費者庁の調査において、都市圏消費者の8%程度が依然として放射性物質を理由に本県産食品の購入をためらうと回答しているとともに、海外においては14の国・地域で輸入規制が継続(令和3年10月現在。令和7年11月時点では5の国・地域が輸入規制を継続)されています。	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
12	70	-	指標見直しの反映	(指標名) ももの取引価格 (目標値(R12)) 589円/kg以上	(指標名) ももの取引価格 (目標値(R12)) 917円/kg以上	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
13	73	10	輸入規制	○ 震災後、本県産食品に対する輸入規制を敷いた55の国・地域の規制緩和・解除は進んだものの、依然として14の国・地域で継続(令和3年10月現在。令和7年6月時点では6の国・地域が輸入規制を継続)しています。	○ 震災後、本県産食品に対する輸入規制を敷いた55の国・地域の規制緩和・解除は進んだものの、依然として14の国・地域で継続(令和3年10月現在。令和7年11月時点では5の国・地域が輸入規制を継続)しています。	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
14	95	-	指標見直しの反映	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 8,000ha以上	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 6,100ha以上	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
15	102	4	その他	県北地方は、果樹・野菜を中心とした福島市・伊達市・伊達郡の北部平地地域、稲作を中心とした二本松市・本宮市・安達郡の南部平地地域、畜産・特産作物を中心とした阿武隈山地と奥羽山系に広がる中山間地域の三つに大別されます。	県北地方は、果樹・野菜を中心とした福島市・伊達市・伊達郡の北部平地地域、稲作を中心とした二本松市・本宮市・安達郡の南部平地地域、畜産・特産作物を中心とした阿武隈高地と奥羽山系に広がる中山間地域の三つに大別されます。	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
16	102	8	その他	販売農家数のうち農業所得を主とする主業農家が占める割合は20.2%であり、県平均の17.2%より高くなっています。耕地面積については、果樹生産が盛んなことを反映して樹園地の割合が21.2%と高く、県全体の樹園地面積の6割以上を県北地方が占めています。	販売農家数のうち農業所得を主とする主業農家が占める割合は20.2%であり、県平均の17.2%より高くなっています。耕地面積については、果樹生産が盛んなことを反映して樹園地の割合が21.2%と高く、県全体の樹園地面積の6割以上を県北地方が占めています(平成27年時点)。	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
17	103	15	新規就農者等	令和6年までの5か年平均で年あたり87名が新規に就農しており、中でも自営就農の割合が増加傾向にあります。雇用就農の増加に向けて、受け皿となる法人経営体の育成が求められています。	○ 令和6年までの5か年平均で年あたり87名が新規に就農しており、中でも自営就農の割合が増加傾向にあります。あわせて、雇用就農の増加に向けて、受け皿となる法人経営体の育成が求められています。	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
18	105	-	指標見直しの反映	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 800ha以上	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 730ha以上	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
19	106	27	その他	○ 田村市都路町を含む阿武隈山地では、林業生産拡大に向けた支援と併せて放射性物質対策を講じる必要があります。	○ 田村市都路町を含む阿武隈高地では、林業生産拡大に向けた支援と併せて放射性物質対策を講じる必要があります。	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
20	109	-	指標見直しの反映	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 1,920ha以上	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 1,460ha以上	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
21	113	-	指標見直しの反映	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 1,040ha以上	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 860ha以上	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し

No.	頁数	行数	修正項目 (視点、キーワード、 用語等)	見直し前(第3稿までの内容)	見直し後(第4稿の見直し内容)	見直しの ポイント等
22	117	－	指標見直しの反映	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 1,280ha以上	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 920ha以上	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
23	120	－	指標見直しの反映	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 1,040ha以上	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 730ha以上	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
24	125	－	指標見直しの反映	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 720ha以上	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 640ha以上	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
25	129	－	指標見直しの反映	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 1,200ha以上	(指標名) 森林整備面積 (目標値(R12)) 760ha以上	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し
26	121	-	(トピックス) 福耕支援隊の支援	<p>◆福耕支援隊とは 「福島の被災した農地を再び耕、おいしい農産物を作る」ため、全国から支援に来ていただいている農業土木職員の愛称です。</p> <p>◆全国からの御支援 発災からの10年間で、北は北海道、南は沖縄まで、31道府県から支援をいただいております。</p>	<p>◆福耕支援隊とは 「福島 of 被災した農地を再び耕、おいしい農産物を作る」ため、全国から支援に来ていただいている農業土木職員の愛称です。</p> <p>◆全国からの御支援 令和7年度までの派遣人数は15年間で延べ1,877名！北は北海道、南は沖縄まで、31道府県から支援をいただいております。 ※その他、掲載写真をR元～R6年度に更新。</p>	用語・呼称、統計データ等の 時点修正等を踏まえた見直し